



## 2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月12日

上場会社名 タマホーム株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 1419 URL <http://www.tamahome.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉木 伸弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 玉木 克弥 (TEL) 03-6408-1200  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日~2020年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	44,230	△2.2	1,335	△37.0	1,298	△36.2	1,282	△5.4
2020年5月期第1四半期	45,234	50.6	2,119	—	2,033	—	1,355	—

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 1,224百万円(△6.3%) 2020年5月期第1四半期 1,306百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	43.52	—
2020年5月期第1四半期	45.28	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	99,217	20,395	20.5
2020年5月期	101,713	21,232	20.8

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 20,334百万円 2020年5月期 21,177百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	195,000	△6.8	7,500	△24.0	7,200	△26.2	4,000	△21.7	135.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 玉福多国際有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期1Q	29,455,800株	2020年5月期	29,455,800株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	1株	2020年5月期	1株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期1Q	29,455,799株	2020年5月期1Q	29,923,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後経済情勢・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要素により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる事項については、[添付資料]3ページ[連結業績予想などの将来予測情報に関する説明]をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
3. 補足情報	P. 9
(1) 受注及び販売の状況(連結)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

令和2年7月豪雨および9月の台風第10号により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年3月以降に拡大した新型コロナウイルス感染症および、その後4月7日に政府より発出された緊急事態宣言下で起きた設備投資の急激な落ち込みから回復しないなか、その後の感染再拡大により個人消費にも悪影響が出るなど今後の景気動向について鈍化が懸念される状況が続きました。また、前期より続く米中貿易摩擦をめぐる緊張の高まりが世界経済に与える影響への懸念等、先行きに強い不透明感が残る状況が続きました。

当社グループの属する住宅業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大で住宅展示場への客足が鈍化したことなどが響き、新設住宅着工戸数のうち持ち家の着工戸数について、前年比△10%超の大幅なマイナスが続くなど、住宅環境を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。

こうした先行き不透明な経営環境のなか、当社グループにおきましては、今冬に発生の懸念される新型コロナウイルス感染症の再流行に備え、早期受注・早期着工・早期売上を目標に、地域特性に合わせた販売戦略を策定・実施し、変化するお客様の価値観・行動様式に柔軟に対応していくことで、中核事業である注文住宅事業の収益基盤を強化するとともに、各事業においてより一層の収益力の向上に努めました。

各事業の概略は以下のとおりです。

#### (住宅事業)

住宅事業においては、注文住宅事業における当第1四半期連結累計期間の新規出店はなく、営業拠点は前期末同様245ヶ所であります。また、モデルハウス、ショールームのリニューアルを1ヶ所において実施しました。当社の展開する戦略商品である「地域限定商品」および当社ベストセラー商品である「大安心の家」の基本性能はそのままに価格を抑えた「特別仕様商品」を中心に受注が好調に推移するとともに、従前より進めてきた価格改定による利益率の改善効果に加え、着工平準化が引き続き順調に進捗したことにより、当第1四半期連結累計期間の損益水準は改善傾向を維持しました。

また、リフォーム事業においては、5月末の緊急事態宣言の解除後、足下で進んだ経済活動の再開を背景に、引き続き入居後10年を経過したお客様を中心とした保証延長工事等のリフォーム受注活動を展開するとともに、マネジメント体制の一層の強化およびリモートワークをはじめとする生活様式の変化に対応した提案に努めた結果、増収増益となりました。今後も、累計で13万棟を超える豊富なストック情報をもとにお客様との関係深化を図りつつ、築年数やお客様のニーズに応じた最適なリフォーム商品の提案と販売を進めてまいります。

以上に加え、費用面においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、イベント会場等での広告宣伝活動を一時的に見合せたことや、本社機能を中心にリモートワークへの移行を図ったこと等により販売費及び一般管理費が減少した結果、当事業の売上高は34,728百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は148百万円（前年同期は720百万円の営業損失）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業においては、戸建分譲事業において、引き続き、資金回転率を重視した10区画以下の小規模分譲地を中心とした仕入、販売に取り組みました。前期より一部エリアで土地買取センターを始動し仕入強化の取組みを進めたほか、昨今のリモートワーク需要の高まりもあって受注・引渡とも好調に推移し、引渡棟数については217棟と前年同期比で58.4%増加しました。今後とも戸建住宅の需要動向を注視しつつ、マーケットニーズに対応した良質な住宅の供給並びに良質な土地の仕入を一層強化することで、戸建分譲事業の確実な伸長を図っていく方針です。

マンション事業においては、引き続き、中古住宅への需要の高まりに対応した中古マンションのリノベーション販売を中心に進めてきましたが、当社がメインターゲットとする首都圏、特に都心部において仕入価格の高騰が長期化していること等から、販売実績は計画未達となりました。しかしながら、現在着工中の新規分譲プロジェクトが4棟あり、いずれも2021年5月期中の販売開始を予定しています。

サブリース事業においては、引き続き東京23区内に所在する管理物件数の拡大に努力した結果、当第1四半期連結会計期間末日における管理物件数は18棟となり、事業収入は順調に推移しました。

オフィス区分所有権販売事業においては、確実なオフィス需要の見込める東京主要5区を対象に仕入、販売に取り組みましたが、不動産市場におけるオフィスビル部門の需要動向が今春以降、弱含みで推移しており、販売実績は計画未達となりました。

以上の結果、当事業の売上高は7,602百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益は789百万円（同68.9%減）となりました。なお、前年同期には販売用不動産（東京都大田区）の売却収益の計上がありました。

#### （金融事業）

金融事業においては、引き続き、当社で住宅を購入されるお客様への保険販売およびつなぎ融資に取り組みました。保険販売については、住宅火災保険の付保率を高水準で維持できたことに加え、当社の住宅引渡棟数が順調に推移したこと、また、つなぎ融資については、お客様への提案活動を強化すること等により収益向上に努めた結果、増収増益となりました。

以上の結果、当事業の売上高は345百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は142百万円（同36.7%増）となりました。

#### （エネルギー事業）

エネルギー事業においては、福岡県大牟田市で商業運転するメガソーラー発電施設の売電実績が、本年7月は天候不順の影響を受けたものの、8月にかけて晴天に恵まれ発電が順調に推移したことなどから、当事業の売上高は239百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は100百万円（同10.9%増）となりました。

#### （その他事業）

その他事業においては、当社の住宅引渡棟数が順調に推移したことから住宅周辺事業が引き続き堅調に推移しました。また、過年度より進めてきたグループ会社の選択と集中の結果、引き続き損益水準は黒字基調での改善傾向を維持しました。

以上の結果、当事業の売上高は1,314百万円（前年同期比12.3%減）、営業利益は133百万円（同61.9%増）となりました。

以上の結果、当社グループの連結経営成績は、売上高44,230百万円（前年同期比2.2%減）となりました。利益につきましては営業利益1,335百万円（同37.0%減）、経常利益1,298百万円（同36.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,282百万円（同5.4%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当社グループでは、通常、住宅事業の売上高が第4四半期に偏る傾向にあることから、相対的に第1四半期の売上高が低くなり、また第1四半期末の受注残高が前連結会計年度末より増加する傾向があります。当第1四半期におきましても、この傾向を受け、前連結会計年度末から資産・負債の主な増減は次のとおりです。

資産は、販売用不動産が1,787百万円増加したものの、現金及び預金が4,015百万円減少したこと等により、総資産は2,495百万円減少し、99,217百万円となりました。

また負債は、未成工事受入金が2,789百万円、短期借入金が2,146百万円増加する一方、未払法人税等が2,219百万円、その他のうち未払賞与が2,211百万円、支払手形・工事未払金等が1,732百万円減少した結果、負債合計では、1,657百万円減少し、78,822百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,282百万円の計上があったものの、剰余金の配当2,061百万円等により837百万円減少し、20,395百万円となりました。この結果、自己資本比率は20.5%となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2021年5月期の連結業績予想につきましては、前回発表（2020年7月13日）の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,993	26,978
受取手形・完成工事未収入金等	1,357	1,174
営業貸付金	6,801	7,527
販売用不動産	6,377	8,164
未成工事支出金	11,873	12,637
仕掛販売用不動産	16,300	14,816
その他のたな卸資産	479	487
その他	1,342	1,311
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	75,519	73,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,316	9,229
機械装置及び運搬具（純額）	3,236	3,194
土地	6,698	6,696
その他（純額）	183	249
有形固定資産合計	19,434	19,370
無形固定資産	832	824
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,435	6,440
貸倒引当金	△509	△508
投資その他の資産合計	5,926	5,931
固定資産合計	26,193	26,126
資産合計	101,713	99,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	14,260	12,527
短期借入金	15,336	17,483
1年内返済予定の長期借入金	3,785	3,639
未払法人税等	2,389	170
未成工事受入金	22,977	25,767
完成工事補償引当金	1,362	1,397
賞与引当金	191	671
その他	8,543	5,606
流動負債合計	68,847	67,262
固定負債		
長期借入金	8,263	7,855
資産除去債務	1,567	1,813
その他	1,801	1,890
固定負債合計	11,633	11,559
負債合計	80,480	78,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,310	4,310
資本剰余金	4,280	4,280
利益剰余金	12,228	11,448
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,818	20,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	19
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	338	278
その他の包括利益累計額合計	358	295
非支配株主持分	55	60
純資産合計	21,232	20,395
負債純資産合計	101,713	99,217

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
売上高	45,234	44,230
売上原価	33,449	33,666
売上総利益	11,785	10,563
販売費及び一般管理費	9,665	9,228
営業利益	2,119	1,335
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	0	0
仕入割引	19	15
違約金収入	14	20
持分法による投資利益	0	—
その他	29	21
営業外収益合計	67	58
営業外費用		
支払利息	50	62
為替差損	61	0
持分法による投資損失	—	0
その他	41	32
営業外費用合計	152	94
経常利益	2,033	1,298
特別利益		
固定資産売却益	4	0
為替換算調整勘定取崩益	—	31
特別利益合計	4	32
特別損失		
固定資産除却損	31	16
投資有価証券評価損	9	—
リース解約損	11	2
特別損失合計	52	19
税金等調整前四半期純利益	1,985	1,311
法人税、住民税及び事業税	147	103
法人税等調整額	476	△78
法人税等合計	623	25
四半期純利益	1,361	1,286
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,355	1,282



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	1,361	1,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△0
繰延ヘッジ損益	△8	△2
為替換算調整勘定	△54	△58
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△55	△62
四半期包括利益	1,306	1,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,300	1,218
非支配株主に係る四半期包括利益	6	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 受注及び販売の状況 (連結)

## ①受注

(単位：百万円)

受注		2020年5月期第1四半期		2021年5月期第1四半期		増減	
セグメント	内容	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額
住宅事業	注文住宅	2,385	42,230	2,625	47,332	240	5,102
	リフォーム	—	1,629	—	2,045	—	415
不動産事業	その他請負	—	—	—	120	—	120
合計		2,385	43,860	2,625	49,497	240	5,637

※解約控除前の数値を記載しております。

## ②販売

(単位：百万円)

売上		2020年5月期第1四半期		2021年5月期第1四半期		増減	
セグメント	内容	棟数	金額	棟数	金額	棟数	金額
住宅事業	注文住宅	1,849	32,485	1,787	32,796	△62	311
	リフォーム	—	1,460	—	1,547	—	86
	その他売上	—	457	—	453	—	△4
	計	1,849	34,403	1,787	34,797	△62	393
不動産事業	戸建分譲	137	4,044	217	6,480	80	2,435
	マンション	—	65	—	67	—	1
	サブリース	—	657	—	880	—	222
	その他売上	—	4,136	—	179	—	△3,956
	計	137	8,905	217	7,608	80	△1,296
金融事業		—	302	—	345	—	43
エネルギー事業		—	233	—	239	—	6
その他事業		—	3,863	—	3,335	—	△527
調整		—	△2,473	—	△2,095	—	377
合計		1,986	45,234	2,004	44,230	18	△1,003